

～新用紙の記載例～  
(様式第5号)

新旧用紙を見分けるため  
ラインを右上にしました

柔道整復施術療養費支給申請書

5000

令和 7 年 2 月分 公益社団法人 日本柔道整復師会 専用

都道府県番号 13  
保険者番号 39131214

公費負担者番号①	公費負担医療の 受給者番号①	1.協	2.組	3.共	自	単併区分 1.単 2.2併 3.3併	本家区分 1.本人 2.本人 3.家族 4.高7	8.給 付割合 10.9
公費負担者番号②	公費負担医療の 受給者番号②	4.国	5.退	6.後				8.7

被保険者 氏名 東整 太郎 住所 東京都文京区本郷1-11-6-801  
世帯主・組合員の 氏名 東整 太郎  
受給者 住所

療養を受けた者の氏名 東整 太郎 生年月日 11年11月11日  
性別 男 年齢 11歳 障害等級 5等  
受傷の原因・業務災害、通勤災害又は第三者行為以外の原因による  
(1)朝公園を散歩中段差を踏み外した時に右足首を捻転受傷  
(2)風呂場で足を滑らせて左手をついた時に左肩を捻転受傷  
(3)自宅玄関の段差で足を躓き転倒左膝を強打し受傷

負傷名	負傷年月日	初検年月日	施術開始年月日	施術終了年月日	実日数	継続月数	転帰
(1) 右足関節捻挫	6・9・1	6・9・1	7・2・3	7・2・28	10	6	治癒・中止・転医
(2) 左肩関節捻挫	6・9・10	6・9・10	7・2・3	7・2・28	10	5	治癒・中止・転医
(3) 左膝部打撲	7・2・25	7・2・25	7・2・25	7・2・28	2		治癒・中止・転医
(4)							治癒・中止・転医
(5)							治癒・中止・転医

「継続月数」欄

経過	請求区分	新規・継続
施術日	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	
初検料	円	円
加算(休日・深夜・時間外)	円	円
再検料	円	円
往療料	円	円
金属調子等加算	円	円
加算(夜間・難路・暴風雨雪)	円	円
柔道整復運動後療料	円	円
計	円	円
明細書発行体制加算	10円	

「頻回」欄

部位	通減%	通減開始月日	後療料	冷電法料	温電法料	電療料	計	多部位	計	長期	頻回	計		
(1)	100	—	505	10	5,050	10	750	10	330	6,130	—	—	0.5	3,065
(2)	100	—	505	10	5,050	10	750	10	330	6,130	—	—	0.75	4,598
(3)	60	—	505	1	505	1	85			590	0.6	354		354
(4)	60	—									0.6			

摘要 【長期(頻回)施術継続理由】  
(1)起立歩行、階段の昇降など日常生活動作に制限が認められる  
(2)肩関節の掌上運動制限や回旋運動制限などによる日常生活動作に支障が認められる

合計	8	7	8	7	円
一部負担金		8	7	9	円
請求金額	7	9	0	8	円

明細書発行体制加算 加算日 3日

「明細書発行体制加算  
加算日」欄

支払区分	①振込 ②銀行送金 ③当地払	預金の種類	①普通 ②当座 ③通知 ④別	金融機関	りそな	登録記号番号	協131 2345 -0-0
加算日	1回目 2回目 3回目	柔道整復運動 後療料加算日	日	日	日	日	日

上記の通り施術したことを証明します。療養費の受領を、協定に基づき、  
令和 7 年 2 月 28 日 (公社)東京都柔道整復師会会長に  
所在地 〒113-0033 委任します  
東京接骨院  
東京都文京区本郷8丁目9-10  
電話 03-3815-0811  
柔道整復師 フリガナ トウキョウ ヨシタロウ  
氏名 東京 善太郎

受取代理人への委任の欄  
上記請求に基づく給付金の受領方を左記の者に委任します。  
令和 7 年 2 月 28 日  
住所 (上記住所欄と同じ)  
被保険者 東整 太郎  
世帯主  
組合員  
受給者

被保険者証等の記号	1 2 3 4 5 6 7 8	被保険者証等の番号	1 2 3 4 5 6 7 8
療養を受けた者のコミガナ	トウセイヨシタロウ	会員番号	1346-1